

参加費
無料

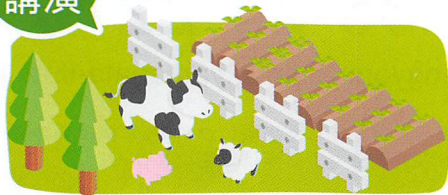
要お申込み

豊穰²⁰²³ 感謝祭

11 / 29 水
2023
13:00 ~ 16:45

会場: グランドエル・サン
クリスタルホール
(山形県鶴岡市東原町17-7)
シンポジウムは会場での対面とzoomによる
Web開催を予定

基調 講演



スマート・テロワール構想を
活用した農業戦略とは
~山口市の子実トウモロコシ振興・実践編~
農業ジャーナリスト/アドバイザー
浅川 芳裕 氏

あさかわ よしひろ

浅川 芳裕 氏 プロフィール

15万部のベストセラー『日本は世界5位の農業大国』著者。エジプトのカイロ大学で学び、ソニー・ドバイやカサブランカでマーケットとして活躍後、農業技術通信社で『農業経営者』副編集長、『アグリズム』発行人などを歴任。日本農業の可能性や世界の農業ビジネス動向を多方面から発信し、その著作は10冊を超える。現在、企業・行政・農業法人の戦略アドバイザーとしても、国内外で活動中。

第1部

- ・基調講演・行政政策の紹介
- ・トウモロコシ等の地域産飼料資源に関する研究成果の紹介と取組み状況

第2部

地域産飼料資源を活用した畜産物や加工品の試食会

詳細・お申込みは裏面へ

庄内スマート・テロワールでは地域産飼料資源の サプライチェーン構築に向けた取組みを行なっています。



YAAS

YAMAGATA UNIVERSITY
ADVANCED AGRIFOOD SYSTEM
RESEARCH CENTER

山形大学農学部では庄内地域にスマート・テロワールを構築することを目指しています。スマート・テロワールとは耕畜連携・農工連携・工商連携・地消地産によって、食料の生産から加工、販売、消費に至るまでの全てを地域内で完結できる「持続可能な循環型農村経済圏」のことです。さらに令和4年度からは山形大学の全学組織として「山形大学アグリフードシステム先端研究センター(YAAS)」を設置し、スマート・テロワール構想の実現に向けた取組みを進めています。そこで、本会ではスマート・テロワールの基軸となる畜産に焦点をあて、特に畜産物を生産するための子実トウモロコシなどの地域産飼料資源のサプライチェーンに関する研究成果や山形県における取組み事例を紹介するとともに、地域産飼料資源を活用して生産した豚肉や加工品を地域の皆さまに味わっていただきながら、庄内地域の未来像を考えるためのシンポジウムを開催いたします。

第1部

シンポジウム

(会場:クリスタルホール)

13:00 開会の挨拶

13:10 山形大学農学部 学部長 村山 秀樹 氏

13:10 【基調講演】

13:50 スマート・テロワール構想を活用した農業戦略とは
~山口市の子実トウモロコシ振興・実践編~
農業ジャーナリスト/アドバイザー 浅川 芳裕 氏

13:50 【行政施策の紹介】

14:20 子実トウモロコシ等の自給飼料をめぐる情勢
東北農政局生産部畜産課 課長補佐 西川 悠貴 氏

14:20 【研究成果の紹介】

14:45 子実トウモロコシ導入の意義と生産技術
山形大学農学部 教授 浦川 修司 氏

14:45 地域産飼料資源をフル活用した豚の 肥育技術と加工品の品質評価

15:10 山形大学農学部 准教授 松山 裕城 氏

15:10

15:30

【山形県における取組み状況】 山形県における子実トウモロコシの 作付並びに生育状況と課題

山形県農業総合研究センター畜産研究所
開発研究専門員 伊藤 修平 氏

15:30

15:50

山形県における養豚経営の現状と 地域産飼料資源の活用について

山形県農業総合研究センター養豚研究所
開発研究専門員 五十嵐 宏行 氏

第2部

地域産飼料資源を活用した 畜産物や加工品の試食会

16:00

16:45

スマテロ小麦にスマテロ味噌、スマテロ豚肉
を用いたオール「スマテロ・ラーメン」などの
スマテロメニューの試食会



参加申込書

「メール」または「FAX」にて必要事項をご記入の上、お申し込みください。
FAXの場合は、このまま送信ください。

申込み締切

令和5年 11月24日(金)締切

FAX

0235-24-2270

申込み先

「庄内スマート・テロワール」豊穰感謝祭 事務局
(山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター内)
〒997-0369 山形県鶴岡市高坂字古町 5-3
TEL:0235-24-2278

E-mail

yu-nogyomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※お知らせ頂きました事項について、本講演会の開催
目的以外に使用する事はございません。

(ふりがな) 参加者氏名	
会社・ご所属	
住 所	
電 話 番 号	